

第6回 再処理・リサイクル部会セミナー プログラム

テーマ 「日本の燃料サイクルを取り巻く課題と対策の方向性」

主催 再処理・リサイクル部会

共催 社会環境部会、バックエンド部会、学生連絡会、シニアネットワーク

協賛 東京大学グローバルCOE「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」

開催趣旨

原子力発電の割合を高めることは、有限な石油、天然ガス、石炭の使用を減少させ、大切な資源を子孫に残すことが出来る。原子力発電の割合を高めることは、使用済み燃料の処理、ウランリサイクル、それに付随する高レベル廃棄物の処分と国民的合意が必要である。またそれを有効に進める研究開発から商業化までの道筋、運転経験の有効な活用、優秀な若手人材の育成などの課題がある。これらの課題に対して、議論を深め、次に進める道筋を明確にし、日本の変革を応援する。

記

日時 平成21年1月27日(火) 9:35~18:00

場所 東京大学山上会館

1. 開会挨拶 田中部会長 9:35~9:40
2. 基調講演 藤家 洋一氏(前原子力委員長) 原子力の時代認識 -化学反応の文
明から核反応の文明へ- 9:40~10:40
3. 特別講演 竹内 哲夫氏(元 JNFL 社長) 技術移転の経験 -キセル原子力屋、
後期高齢者の伝言- 10:40~11:40
昼食 11:40~13:00
4. ポスターセッション 13:00~14:00
5. 講演 14:00~15:30
(座長) 東京大学大学院 木村 浩氏
 - 1) 次世代のための人材育成と確保方策 長崎 晋也氏(東京大学) 14:00~14:45
 - 2) 信頼関係に基づく規制の考察(品質保証制度、検査制度、民間基準の整備を中心に)
森 信昭氏(日本電気協会) 14:45~15:30コーヒーブレイク 15:30~15:45
6. パネルディスカッション「廃棄物問題の技術的側面と社会への広報」 15:45~17:30
「フランスの(地層処分、分離変換、長期貯蔵)の研究を進め、時間をかけて国民のコンセンサスを得る」方式をベースに、それぞれの技術的側面と社会への広報と学会の役割について、議論を深める。

座長 原子力環境整備促進・資金管理センター 田辺 博三氏
パネラー 原子力発電環境整備機構理事 河田 東海夫氏
東京大学大学院 和田 隆太郎氏
東京大学大学院 長崎 晋也氏
東京大学大学院 木村 浩氏
福井大学大学院 山本 哲大氏

質疑応答 17：30～17：45
7. ポスター賞発表 17：45～17：55
8. 閉会挨拶 17：55～18：00

懇親会 18：00～19：30

(参加費等)

参加費（懇親会費込み）：会員1万円、非会員1万5千円、シニア5千円、学生無料

参加申込み先：三菱マテリアル 大場 一鋭 oba@mmc.co.jp

参加登録締切り：平成21年1月9日（金）

(ポスター等)

予稿原稿：A4サイズ1～2枚（題目、発表者、所属、発表内容、MS-WORD File）

ポスター掲示板サイズ：A0サイズ（横90cm × 縦180cm）

ポスター申込み先：電力中央研究所 西村 友宏 tomonisi@criepi.denken.or.jp

発表申込み締切り（題目、代表者氏名）：平成20年12月26日（金）

予稿原稿締切り：平成21年1月16日（金）

ポスター対象分野：以下の9項目に該当するもの

1. 人材育成/各大学の原子力教育取り組み
2. 長期戦略/国際展開
3. 住民、地元との対話活動/リスクコミュニケーション
4. 部会、連絡会の活動紹介
5. 民間基準、学会基準作成の取り組み
6. 地層処分、陸地保管研究
7. 分離変換研究、サイクル研究
8. その他、バックエンドに関する物
9. 学生の研究発表